



# 『もっと！！本野通信』

No.18

諫早市立本野小学校長 永井 洋

## 平和学習

本校は、6月、7月を平和学習月間としています。子どもたちは、語り部の方の話を聞いたり、図書室の本や学習の中で学んだり、折り鶴を作成（2学期に4年生が代表として平和公園に捧げてきます）したりして「平和」ということの意味を学年に応じて学びました。それぞれの思いや誓いを「平和の葉」に書き込み、教室や廊下に掲示していますので来校の際には是非ご覧ください。

これから先のことを考えると、先の大戦を経験された方々は減少していきます。そうすると、戦争で何が起こったのかを伝承することが難しくなっていきます。ですから、大切であることは、今も世界のどこかで国と国との争いが起こっていることを子どもたちに伝え、自分たちが日常の中でできる「争い」をなくす工夫を考えることだと思います。もちろん核兵器の使用は許されないことですが、そのことだけではなく、子どもたちの身にかかる「平和学習」をこれからも工夫していきます。

以下に、子どもたちに話した内容を掲載します。ご一読いただくと幸いです。



### 平和集会

みなさん、おはようございます。長崎市に原子爆弾が落とされて79回目の朝を迎えました。今日は、原子爆弾によって亡くなられた方々、また戦争によって亡くなられた多くの方々の霊を慰め、今を生きている私たちが、力を合わせて平和を作っていくこと、そして、79年前、長崎で何が起きたかということを決して忘れず、これから多くの人々に伝えていくことを強く誓う日なのです。

戦争や争いのない世界、つまり「平和」な社会が大切であることは、皆さんはもとより、すべての人が分かっていることだと思います。ただ、現実にはとても難しいことです。今この時も世界では戦争が起きている場所があります。私たちの身の回りをふり返ってみると、とても小さな集団である学級の中ですら「平和」な社会を作ることは難しいことなのです。ただ、私は、争いを減らすことはできると信じています。これから、本野小学校の中で、争いを減らすために大切だと思うことを、皆さんに伝えたいと思います。

まず、大切なことの1つ目は、「決まり」「ルール」を守ることです。決まりやルールはみんなが気持ちよく過ごすために決められたものです。守らない人が出てくると嫌な気持ちになる人は当然出てきます。争いをなくすためにもみんなが決まりやルールを守った生活を送ることが大切です。2つ目は、「あいさつ」「ふわふわ言葉」「返事」です。学校で起こるトラブルの理由の多くは、「悪口を言われた」「無視をされた」です。誰とでもあいさつを交わし、ふわふわ言葉を使ってみんなが仲良く過ごす本野小学校になってほしいと願います。

さて、最後にもう一つ、皆さんにお願いがあります。今日の集会をとおしてみんなで考えたこと、「自分やみんなのことを大切にす」「平和のためにできることを見つけ行動する」という2つのことを心に刻み、まずは、笑顔があふれ平和がいっぱいの本野小学校をみんなで作りましょう。

1945年8月9日午前11時2分。多くの方が原子爆弾によってかけがえのない命を奪われました。二度とこのようなことが起こらないようにという気持ちで、おうちに帰って黙祷を捧げましょう。 お話を終わります。

